

東亜ディーケーケーのDXの取り組み

経済社会のデジタル化、地球環境課題への対応など事業環境の変化にスピード感をもって対応することが求められており、この環境変化から生まれる様々なニーズを事業拡大の機会として捉えています。

当社は、中期経営計画（2022年度～2024年度）の重点施策のひとつに「DXの推進」を掲げ、業務のデジタル化に留まることなく、ビジネスモデルや企業風土そのものを変革する手段と位置付けています。開発、生産、販売からサービスまでの“全方位”でデジタル技術を活用し、企業価値向上と社会課題解決を実現し、ステークホルダーに必要とされ続ける企業を目指します。

DX戦略とロードマップ

売上高200億円を目指す施策のひとつとして、以下のDX戦略を展開します。

①収益構造の強化

業務プロセス改革と併せてERP導入を行い、生産性の向上および経営可視化による経営判断の迅速化を実現し、収益力を高めます
【テーマ】モノづくりの進化、全体最適化

②持続的成長の実現

デジタル技術を活用して、お客さまや社会のニーズ、事業環境の変化に対応し、既存製品の新分野への進出や新製品開発を図り、事業を拡大します
【テーマ】お客さま満足度の向上、地球環境・社会への貢献

③挑戦し続ける企業風土づくり

制度や機会をつくり、主体的でスピード感ある挑戦を後押しする組織風土を醸成します
【テーマ】人材育成、働きがいの向上

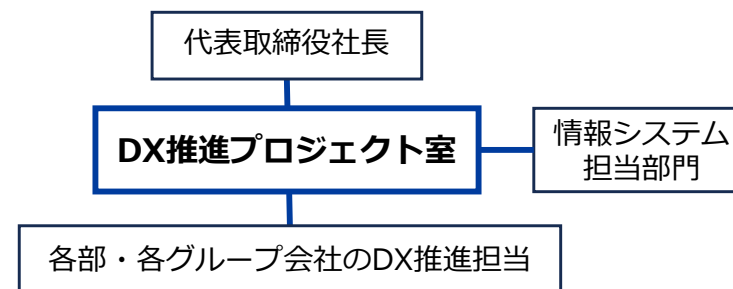
推進 段階	2022年度～	2024年度～	2027年度～
	STEP1 システム構想	STEP2 システム構築・統合	STEP3 全社経営基盤確立
DX 戦略	・業務プロセスの再設計、社内ルールの見直し ・全社基幹システムの構想	・全社基幹システムの刷新 ・事業管理データ等の一元化、見える化 ・業務の標準化	・データ活用による経営判断の迅速化、高度化 ・業務/システムの全体最適化による生産性向上
	・従業員のITリテラシー向上で、デジタル技術を活用した業務変革を推進 ・挑戦を後押しする仕組みをつくり企業風土を変革 ・情報セキュリティ管理の継続的な強化		

DX推進体制

●組織

2022年4月に、開発や生産など各種部門の若手社員を中心に組織した社長直轄の「DX推進プロジェクト室」を設置しました。DXに関する戦略・投資立案、全社的推進を担い、定期的に経営会議および取締役会に進捗を報告しています。

また、各部で任命されたDX推進担当が、DX推進プロジェクト室と連携し、実務・現場に即したDX施策の企画・実行をリードし、各部署のメンバーを巻き込んで推進していきます。



●人材育成

デジタル技術を活用した業務変革を実行するマネジメント力、企画力、データ分析力等を備えた自律型人材を育成するため、人材の要員計画と社員のキャリアプランを踏まえて研修・IT関連通信教育支援・資格取得奨励制度を充実させていきます。

DX環境整備

2022年度～2027年度で、DXへの大型投資（10億円～）を実行し、サプライ、エンジニアリング、サービスの各チェーンをERPを基幹として一元化するシステムを構築します。

DX戦略の達成状況に係る指標

- ・新システムを2027年度に本格稼働予定
- ・売上原価、販売管理費の低減による営業利益の増加
- ・間接業務から直接業務へのシフトによる売上高の増加